

消毒、滅菌前にまず洗浄を

★使用された器具・器材には汚染物(血液、粘液、分泌液、組織片、排泄物、薬剤、無機物等)が付着しており、

これらの「汚れ」の中に多数の病原微生物(細菌、ウイルス)が潜んでいます。

★消毒・滅菌を行う前に「汚れ」(「目に見える汚れ」、「目に見えない汚れ」)は完全に除去しなければなりません。

★もし、血液・蛋白等の有機汚染物が残存したまま消毒・滅菌を行ってもその効果は期待できないとされています。

★**ご注意:**

**先に消毒液に漬けることはタンパクを固定させること
になります。 CDCガイドライン参考**

アメリカ疾病防疫センター(CDC)「院内感染防止のためのガイドライン」

【消毒の前処置】

血液や蛋白などの有機物は多数の微生物を含んでいるので消毒処置の前に完全に除去しなければならない。また、それらの有機物は化学殺菌物質を非活性化したり、微生物を消毒や滅菌処置より保護することがある。

洗浄の基本

- ・ 手術器材の洗浄は、滅菌や消毒をするための重要な作業です。
- ・ 汚染器材を消毒剤に直接つけてしまうと、器材表面の血液が凝固してしまいます。
- ・ 完全な洗浄がされなければ確実な消毒も滅菌も出来ません。

★**オートクレーブの前の洗浄は蒸気が滅菌物すべての個所に行き届くことで滅菌が可能になります。きれいに洗浄されていなければオートクレーブすることで滅菌出来ている、とは限りません**

- ・ 今までの慣習にとらわれず、科学的な根拠を元に器材の材質、洗剤の特性、自動洗浄器^①や超音波洗浄器の特徴などを考えた正しい器材の再生を考える必要があります。